

令和2年度第3回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和2年7月21日（火）15:30～16:15 評議会室

出席者：廣川理事長、青木副理事長、倉茂理事、山根理事、高橋理事、
林理事、木村理事、山本監事、元永監事

事務局：八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、小椋経営企画課長、
武田学生・就職支援課長、郡田教務課長、土淵地域連携・研究支援課長
塚本参事、杉田課長補佐、吉田主幹

令和2年度第2回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）について、
一部修正のうえ承認された。

議 題

（報告事項）

1 令和元年度監事監査結果報告について

山本監事から、資料に基づき報告があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・滋賀県の監査における指摘は、不正につながるような内部統制上の不備ではなく、単純な事務ミス・チェック漏れという認識でよいか。

→その認識で結構です。

2 新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対応について

青木副理事長から資料に基づき報告があった。

3 本学に対する爆破予告とその後の対応について

青木副理事長および山田総務課長から資料に基づき報告があった。

4 その他

〔意見・質疑等〕

- ・教教分離について、議論は進んでいるのか。

→役員会の前も教教分離推進チーム会議を開催していたところ。

一部の学部からは、議論が十分できていないため、時間を欲しいとの意見もあった。次を最終の意見として取りまとめていきたいと考えている。

- ・会議が開催しにくいので大変ではないか。

→新型コロナウイルス感染症の発生がなければ、説明会を開催して質問を受け付けるつもりであったが、それができないため3回に分けてメールで文書を配信し意見を求めたところ。

4年以上検討を行ってきたところであり、進める時期に来ていると考えている。